

あなたも わたしも 大切な ながさかっこ 聴き合っ 話し合っ ともに学ぼう !

ながさかっこ



ながさかしょうがっこう 長坂小学校だよりNo.11 2024年1月発行 発行責任者：校長 國分 孝明

「あけましておめでとうございます。」と明るく2024年を始めようと思いましたが、早々に能登半島地震が起こり、多くの方が被災されている現状があります。200人以上の方が亡くなられたことにご冥福を祈るとともに、家屋が倒壊し避難所生活を余儀なくされている方々や、海底の隆起により仕事を奪われた方々に1日でも早く平常に戻ることを祈念いたします。また、地震の翌日には旅客機と海上保安庁の機体が衝突し海上保安庁の方5人がなくなるということもありました。海上保安庁の機体は能登半島への支援物資を運ぶためのフライトであったという点において、地震がなければ起きることの無い事故であったと思われま

す。このような不安の多い中に始まった3学期ではありますが、始業式では子どもたちに「今ここにある普通の生活に感謝をすること」と「自分ができることを一生懸命がんばること」を伝えました。また、この3学期は次の学年への準備の期間となります。しっかり学習したり、友だちと協力したりしながら過ごしてもらいたいです。

じどうちようかい ぜんがくねん 児童朝会より (全学年)

1月24日(水)に児童朝会がありました。時間の関係上始業式では話せなかった「1年の計は元旦にあり」というお話をしました。元旦は1月1日の朝の意味ではありますが、1月中ということで自分の目標を持つことの大切さを伝えました。また、その目標を誰かに話したり、良く見えるところに貼っておくことで、常に意識することができることも伝えました。

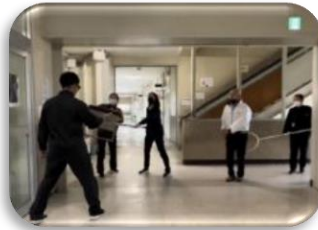
最後には自分の目標や気づいたことをノートに書き綴って夢を実現した大谷翔平選手の話をして、送られてきたグローブを紹介しました。今後、3つのグローブは体育の授業などで使用していきますが、ひとまずは各学級で巡回展示を行っています。参観日には体育館に展示する予定です。



こうりゆうかい ねんせい かがやき交流会 (1・5・6年生)

2学期に、かがやき学級と1,5,6年生それぞれとの交流会を行いました。9月に行った1年生との交流会では、フラッシュカードやリズム、聞くトレーニングなどの活動をかがやき学級の子どもたちが紹介し、1年生が体験しました。10月には、5年生と「じゃんけんサッカー」をして交流しました。いろいろな相手と何度もじゃんけんをして盛り上がりました。11月の6年生との交流会では、「スリーヒントクイズ」と「もうじゅう狩り」をしました。互いに声をかけ合う姿がたくさん見られ、楽しいひと時を過ごしました。3学期も交流会を行い、子どもたち同士の交流を深めたいと思います。

そな たいせつ きょうしよくいん 備えることの大切さを (教職員)



昨年(さくねん)の11月、放課後(ほうがご)に教職員(きょうしよくいん)だけで不審者(ふしんしゃ)対応(たいおう)訓練(くんれん)を実施(じっし)しました。今回の訓練(くんれん)は本年度(こねんど)で2度(ど)めとなる不審者(ふしんしゃ)対応(たいおう)訓練(くんれん)でした。1度(ど)めは8月にさすまた(さすまた)を使って、不審者(ふしんしゃ)の動き(うごき)を止める訓練(くんれん)を行っ

ています。今回は、泉佐野警察(いづみさのけいさつ)の方が不審者(ふしんしゃ)役(やく)となって、授業中(じゅぎょうちゆう)の時間帯(じかんたい)に保護者(ほごしや)を装(よそお)って侵入(しんにゆう)してきたことを想定(そうてい)した内容(ないよう)でした。

教職員(きょうしよくいん)は、教室(きょうしつ)対応(たいおう)グループ(ぐループ)と不審者(ふしんしゃ)対応(たいおう)グループ(ぐループ)の2つ(ふた)グループ(ぐループ)に分かれて訓練(くんれん)しました。訓練(くんれん)の後に、警察(けいさつ)の方(かた)からは、迅速(じんそく)な対応(たいおう)で必要(ひつよう)以上に刺激(しげき)せず素晴らしい対応(たいおう)だったと評価(ひょうか)をいただきました。子どもたち(こどもたち)の命(いのち)を守る(まも)るために、子どもたち(こどもたち)をできるだけ不審者(ふしんしゃ)から遠ざけ(とおい)ること、声(こゑ)のかけ方(かた)、また、さすまた(さすまた)の使い方(つかいかた)をもう一度(いちど)伝えて(つた)えていただきました。研修(けんしゅう)を終えて、不審者(ふしんしゃ)対応(たいおう)の職員(しよくいん)からは「一度(いちど)研修(けんしゅう)をしていて、対応(たいおう)については頭(あたま)でわかって(わ)いたものの、いざ動(うご)くとなると難(むずか)しかった。」や「刺激(しげき)しないように対応(たいおう)するにはどうすればよいかなど、やってみて知(し)ることがたくさんあった。」という感想(かんそう)がありました。教室(きょうしつ)対応(たいおう)の職員(しよくいん)からは、「不審者(ふしんしゃ)が教室(きょうしつ)に入(はい)ってこないか怖(こわ)く、教室(きょうしつ)に侵入(しんにゆう)した場合(ばあい)にどのように子どもたち(こどもたち)の命(いのち)を守る(まも)るのか考(かん)えて日頃(ひごろ)からの備(そな)えがひつよう(ひつよう)だと感(かん)じた。」という感想(かんそう)がありました。



今回(こんかい)、実践(じっせん)的な訓練(くんれん)を行(い)って、対応(たいおう)するときの素早(すばや)さが必要(ひつよう)なこ

と、子どもたち(こどもたち)の命(いのち)を守(まも)り抜(ぬ)くための対応(たいおう)について臨機応変(りんきおうへん)な行動(こうどう)が必要(ひつよう)だということも分(わ)かりました。それと同時(どうじ)に、チームで対応(たいおう)していくことが子どもたち(こどもたち)の命(いのち)を守る(まも)る大きな力(ちから)となることを学(まな)ぶことがで

きました。不審者(ふしんしゃ)が侵入(しんにゆう)するということはあ(あ)ってはならないこと(こと)ですが、もしもの時(とき)のために備(そな)えをしてお(お)くことが大切(たいせつ)だと感(かん)じました。



↑
じゃんけん(じゃんけん)で5連続(れんぞく)して勝(か)つのは意外(いがい)に難(むずか)しい!!

スリーヒントクイズ(スリーヒントクイズ)はかがやき学級(がっきゅう)でつかっている学習(がくしゅう)道具(どうぐ)についての問題(もんだい)がありました ↓

